

事務事業評価シート(補助金事業)(平成25年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
41513	商工業振興費補助金	産業振興課	商工振興係	飯澤 誠	原 照代
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先〔内線〕	2146
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0701	商工事業	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	4章	活力ある産業とにぎわいのまちづくり
		節	(コード選択)	1節	活力ある地域産業の創出
		項〔基本施策〕	(コード選択)	5項	活力を生み出す工業の振興
		目〔主な施策〕	(コード選択)	1目	経営支援
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他			
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始)	S47	年度 ~ (終了予定)	年度
	補助金の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()			
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input checked="" type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)			
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助				
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)				

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

一部事務組合等 公益法人 企業や団体 個人

(交付団体名 : 辰野町商工会)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

各種講習会等を開催することにより、商工会員(企業)の経営をサポートし、経営の手助けとなる

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	商業、工業、建設業、観光事業等の経営サポートのための事業費として補助金を交付する
2	

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	講習会等の開催による指導	人	360	360	360	1.00	360
	説明	各種講習会等の参加者数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	過年度の実績による見込数				
②	指標名							0
	説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
事業費(円)		3,600,000			3,600,000			12,100,000			4,000,000			
補助率(町負担分)		100.0%			100.0%			100.0%			100.0%			
町交付額(一般財源)(円)		3,600,000			3,600,000			12,100,000			4,000,000			
財源内訳	特定財源	国庫支出金												
		県支出金												
		地方債												
		その他												
	一般財源	3,600,000			3,600,000			12,100,000			4,000,000			
人件費の概算		(千円)												
対前年比		%												
		平成23年度決算			平成24年度決算			平成25年度決算			平成26年度見込み			
		501			954			955			955			
		/			190.4			100.2			99.9			
		年間人件費			年間人件費			年間人件費			年間人件費			
		/			/			/			/			
町職員(正規職員)		501			954			955			955			
臨時職員		0			0			0			0			
		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												

(5) 補助金の効果の評価【Check】

妥当性	1. 町民のニーズはありますか(補助金の交付を受ける活動が、町民に求められていますか)	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	プレミアム商品券の発行、講習会、講演会の開催
	2. 社会情勢上必要ですか	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	外部専門機関との連携により、技術開発、販路開拓、財務体質強化等に取り組んだ
	3. この補助金は広く町民のためになっていますか	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	商工業の発展は、賑わいのある町づくりの基礎となり、町の発展につながり、町民に還元されていく
	4. この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	商工会員の会費だけでは多種事業を行うことは財政的に難しい
有効性	5. 事業の効果が具体的に把握できていますか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	税務講習会や技能講習会等を開催し、多くの会員の参加があった。
	6. 補助金を交付することで期待された効果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	町の商工業者の情報を全国的に発信。また、税務講習会や金融相談、技能講習会等を開催し、経営改善や経営向上につなげた。販路拡大のために、ナゴヤメッセに出展し、2企業が商談を結んだ
公平性	7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	商工会に対し、商工会員のために使用されている
その他	8. これまでに見直しの実績はありますか	A	A 補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	実施する事業によって商工会から要望があり、必要な事業に対して補助金を交付している
	9. 補助金等の交付により、町にどのようなメリットがありますか		商工会に補助金を交付することにより、事業所毎にきめ細かな指導ができ、さまざまな分野での講習会を開催することにより、商工業者の経営改善が図られ、町の産業が活性化する		

(6) 改革改善【Action】

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する**
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 増額する**
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
町の商工業の発展のためには商工会の行う事業は欠かせない。毎年必要な事業を精査し補助金額を決定していく	[反映内容] 商工業振興費補助金 プレミアム商品券発行事業補助金				

(7) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。
	<p>※具体的な実施内容をお書きください</p> <p>今年度は、プレミアム商品券、ガイドブック作成発行などを行った。</p>

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
商工業発展のため継続実施	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持**
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a ~ c を選択